

1	指定管理者名	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ
2	指定期間	令和3年 4月1日 ～ 令和8年 3月31日
3	業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4. 採点表										
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況 (10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		開館時間中(4月～9月10:00～17:00、10月～3月10:00～18:00)は、自由来館としている。 ※新型コロナウイルス感染症対策として消毒時間(4月～9月13:00～14:00、17:00～18:00、10月～3月13:00～14:00)を設けているため、13:00～14:00は児童館利用をご遠慮いただいている。 ・8/23～9/30 臨時休館 ・1/21～3/21 自由来館のみとし、全ての事業を中止。	-	
			②利用人数			平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(上記(1)適用) ※今回は指定管理1年目の評価のため、上記(1)を適用。前指定管理期間(平成28年度、29年度、30年度、令和元年度、2年度)平均利用人数で令和3年度の利用人数を割ることで平均値比を求める。 42%≒利用人数(延べ人数1,651人)÷3,935人 新型コロナウイルス対応一律8点(令和2年度と同様)				・乳幼児クラブは仕事復帰に伴い入園する方が多く、昨年度同様在籍人数が減少している。募集のチラシを保健センターにもお願いしたり来館者に声をかけたりして参加者を募った。 ・小学校でのおたより配布時の放送紹介等を積極的に行うことで児童センターの認知度が上がっている。 【令和3年度】来館者数 1,651人 乳幼児 191人 小学生 949人 中高生 103人 大人 408人 【令和2年度】来館者数 1,510人 乳幼児 197人 小学生 826人 中高生 101人 大人 386人 【令和元年度】来館者数 3,767人 乳幼児 645人 小学生 1,732人 中高生 371人 大人 1,019人 【平成30年度】来館者数 4,712人 乳幼児 673人 小学生 2,690人 中高生 189人 大人 1,160人 【平成29年度】来館者数 4,643人 乳幼児 815人 小学生 2,455人 中高生 229人 大人 1,144人 【平成28年度】来館者数 5,044人 乳幼児 683人 小学生 2,970人 中高生 360人 大人 1,031人 ※来館者数と事業参加者は異なる数え方をしています。
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計21回開催、延べ54名参加) ・児童を対象とした事業(計48回開催、延べ361名参加) ・地域交流事業・多世代間交流事業(計1回開催、延べ47名参加) ・中高生事業(計1回開催、延べ2名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計8回開催、延べ7名参加) ※別紙:事業評価表 参照	仕様書以上 13点	・新型コロナウイルスまん延防止重点措置等の発令に伴いクラブや地域行事等が中止となり、仕様書の目標回数に達しない事業があった。 ・大人のみならず幼児の感染事例も増えた為か、利用者が慎重になり乳幼児や小学生クラブの参加を控える例も見られた。 ・地域交流事業は、定員を定め安全に配慮した上で内容を工夫し行った。	13点	
				(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、 内容・事業数等が例年通り:11～9点、 内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、 内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、 内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計22回開催、延べ132名参加) ・児童を対象とした事業(計64回開催、延べ330名参加) ・地域交流事業・多世代間交流事業(計33回開催、延べ260名参加) ・中高生事業(計8回開催、延べ26名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計4回開催、延べ9名参加) ※別紙:事業評価表 参照	期待以上 13点	・昨年に引き続き食の事業や水遊び、地域行事等が中止となった。食の事業では調理事業に代わる食育ビンゴゲームやクイズを工夫して実施した。 ・小学生対象のボードゲームを新たに企画し、実施した。回を重ねる毎に参加者数が増えてきた。 ・館イベントの餅つき大会に替わる花もち作りを実施し参加者に喜ばれた。

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する(適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、 適正(普通):6点、 一部不備あり:4点、 不備あり:2点	・屋内・トイレの清掃:毎日、ガラスの清掃:随時、備品の清掃:毎日、照明器具の清掃:随時、館庭の清掃:週1〜3回などの定期清掃、日常清掃を実施。 ・駐車場を含め、児童館周辺の側道まで、細目に様子を見て清掃している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②保守・点検			・電気工作物、運動遊具の保守点検は委託により実施。 ・パソコンは随時点検。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③保安・警備			・非常通報装置・消防用設備については、警備会社に委託により実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④小規模修繕			・室内階段横電球や女子トイレの蛍光灯の交換。 ・屋外スロープ下タイル剥がれのセメント張り替え作業を行った。	適正(普通) 2点	修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			・毎月の定期点検により危険箇所の有無について確認。	適正(普通) 2点	日常の業務の中で、危険箇所を把握し、適正に対応されている。	
		(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する(期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・文書目録を作成し、重要書類はすべて、鍵のついたスチール棚に保管。	適正(普通) 2点	文書目録を作成し、それに基づき適正に管理されている。	10点
			②環境への配慮			・節電・節水に努める 利用者のいる部屋のみ照明をつける、使用していない電化製品のプラグは抜く、冷房の設定温度を28度に設定、夏は高窓を開け風通しを良くする、冬は床にマットを敷く、など季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 ・廃材や消耗品の再利用 空き箱やペットボトル、ロールの芯などの廃材を使って工作を行っている。 リサイクル紙を利用、関係者機関への連絡はメールを利用。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			・廊下の床に、来館者の荷物を置いて動線をふさがないように、棚を荷物置き場にして いる。 ・卓球台の転倒防止の為ベルトで固定している。 ・郵便受けやテーブルのかどにクッションを取り付けている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			・備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			・特定非営利活動法人ワーカーズコープとして『個人情報保護規定』を作成している。 ・情報は施錠保管のうえ管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする (事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、 事故等対応に不備あり: △1点)	事故なし。	事故なし・対応に不備なし 0点	ワーカーズコープとして、保険に加入している。	0点
3	当該施設の経営状況 (-点)	①事業収支			施設の特性から評価対象外の項目	(参考)収入 11,406,136円 ÷ 支出 10,708,528円 ≒ 107% 収支状況が必ずしも管理運営状況を反映するのではないため、評価対象外とする。 (令和3年度から)			

評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
4	より良い施設運営のための取組 (35点)	(1)市民・利用者の声の反映 (20点)	①ニーズの把握・事業への反映	15	期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・窓口に意見箱を設置するとともに、クラブ終了時や、行事開催後などにアンケートを実施し、乳幼児クラブでは要望の多かった身体を動かして遊ぶアスレチック遊びやごっこ遊びなどを取り入れた。つく～るクラブでは、子ども達の要望を取り入れながら季節を感じられる作品作り等を行った。納得のいく作品の出来栄がその後の創作意欲に繋がった。	期待以上 12点	・クラブにおいてアンケート結果を、次期に反映させて対応している。	12点		
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	期待以上・苦情なし 5点	ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	5点		
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント (15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・施設管理に一番重要な人員確保の為に、常時勤務する以外の臨時有資格者を登録し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の欠勤に対応できるようにした。 ・休館期間中に、職員が手作りで児童センターにあるゲームの道具を手作りした。 ・NPO法人ワーカーズコープでは、『全国子ども・子育てケアプロジェクト』を組織し、子育て・子育て・障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。 毎月「全国子育てWEBミーティング」10月23日「全国子ども子育てケアプロジェクト会議」2月18日～19日「全国子育てフォーラム」(オンライン) ・11/13～14「実践交流集会」子育ての中で体験する事の重要性を実践報告と共に学習した。 ・2/27～28「全国事業推進会議」子育て分科会のほか、年間全国規模の研究交流会を計8回開催。(オンライン)・東海事業本部においても「東海事業本部子育てPJ会議」毎月開催。(オンライン) ・愛知岐阜静岡エリアブロックにおいて研究交流会および経理研修を計6回開催した。(オンライン) ・法人内児童館職員全員参加研修を毎月第2月曜日を基本に開催した。(新型コロナ対策・次亜塩素酸水活用法・密を避ける遊びの工夫・公共を担う仕事・熱中症予防健康管理・SDGs・児童館ガイドライン・リスクマネジメント・子どもの権利・ぎふ木育など専門性を高める研修) ・下記他団体の研修会に参加し、未参加者へは伝達研修を行った。 【主催:岐阜県児童館連絡協議会】・12/16館長研修会「コロナ禍の児童館運営について」児童健全育成推進財団理事長 鈴木一光先生 ・11/12東濃ブロック児童厚生員研修会「個別支援のあり方」児童心理療育施設桜学館施設長 児玉俊郎先生・11/18東濃地区児童館職員等研修会「コロナに対応した運動あそび」ルーデンスジャパン 山田恭平先生「児童発達理論」岐阜聖徳学院大学 高村和代先生「虐待講話」東濃子ども相談センター 小池智明先生	期待以上 14点	・地域行事や会議への職員の参加や、地域との積極的な連携を行っている。 ・職員が手作りの多数のボードゲームが子ども達の来館目的の一つとなり、運営努力を行っている。 ・小学校でのおたより配布時の放送紹介等を積極的に行い児童センターの認知度が上がっている。 ・全国組織である点を活かし、様々な研修に参加し、それを共有することで職員の資質向上に努めた。	14点		
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする (遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点			
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	特になし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点			
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				85点		
									全体的な評価 ・極めて良好な管理が行われている。 ・コロナで来館者は増えていないが、工夫して運営している。 ・休館中に職員がボードゲームを手作りし、それが児童の来館者数につながっている。	極めて良好	